

外国語活動学習指導案

令和3年12月9日(木) 5校時
第4学年1組 児童数31名
にこにこ学級 児童数 1名
授業者 山縣優貴
ALT Yung Lin (Erick)

単元名 自分が選んだ防災グッズを友達に紹介しよう
Unit5 「Do you have a pen?」

本単元で育成する資質・能力 主体性 **コミュニケーション能力** メタ認知

1 単元について

【単元観】

本単元では、小学校学習指導要領の外国語活動第3学年、第4学年の1目標(2)話すこと[やり取り]の「ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする」に関する内容となっている。

3学年外国語活動 Unit4 「I like blue.」では、“I like～”や“Do you like～?”などの表現とつながっている。本単元では“I have～”の表現を用い、自分たちに必要な防災グッズは何かを質問したり答えたりするコミュニケーション活動を引き続き行う。

この活動を通して、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり答えたりする体験を十分にしておくことで、コミュニケーション能力の素地を養い、高学年の外国語科につながっていくと考える。

【児童観】

児童はこれまでに、挨拶、遊び、曜日、時間、天気、好きなものを尋ねあう表現、曜日や時刻の尋ね方や答え方などを学んできた。児童の多くは外国語活動を好み、週1時間の授業を楽しみにしている。授業中の1対1のやり取りでも友達と協力して、英語で表現しようとしている。

また、英語でのやり取りの際に、相手の言ったことにうなずいたり、英語で返事をしたりしているかアンケートを取ると96%の児童が「できている」と回答し、日々の授業の中で主体的に外国語を活用しようとしていることが分かる。

しかし、3人の児童が外国語を用いた活動に不安を感じており、振り返りを見ると「どう発音したらいいか分からなかった」「前回学習した英語を忘れて言えなかった」等と書いてあった。

【指導観】

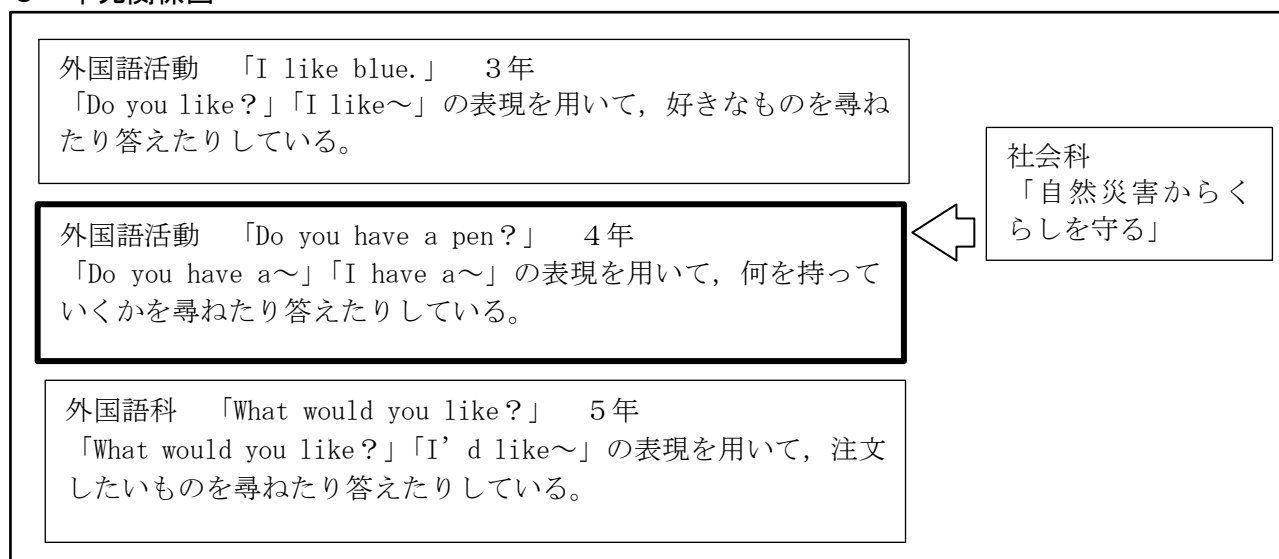
本単元では、“Do you have a pen?”の表現を用いて、文房具などの学校や家庭で使うものを題材に取り上げ、繰り返し表現をさせることを通して、持ち物や使う物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませる。また、主体的な学びや必然性のあるやり取りになるように、社会科「自然災害と私たちの暮らし」やNIE学習発表会などに関連させ、単元のゴールを自分が防災バッグに入れる物を友達に伝える活動を行う。

児童が安心してコミュニケーションを図ることができるように、やり取りのモデルを毎時間示し、ALTと連携し、何をどう表現すればよいのか、児童に見通しをもたせるようにする。児童が英語で表現したい防災グッズを事前に調査し、掲示やプリント配布をしておくことで、児童が繰り返し確認できるようにする。また、コミュニケーションを行う活動では、相手を変えて繰り返し取り組ませ自信をもたせる。前時の学習でコミュニケーションではジェスチャーや相槌等が大切なことを想起させる。活動の際にはお互いのことを意識させ、楽しく表現することにつなげていく。

2 単元の評価規準

【資質・能力】コミュニケーション能力		
・「Do you have a～?」「I have a～」の表現を用いて、何を持っていくかを尋ねたり答えたりしている。		
知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
・防災のために準備するものを表す話を聞いたり言ったりしている。 ・持ち物を尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。	・自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、欲しいものや必要なものなどを伝え合っている。「[思考力, 判断力, 表現力等] (3) イ 話すこと [やり取り] (イ)」	・相手に伝わるように工夫しながら尋ねたり答えたりしようとする。

3 単元関係図



4 指導と評価の計画（全4時間）

次	学習内容（時数）	評 価			
		知・技	思・判・表	主体的態度	評価規準（評価方法）
一	○ 文房具を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 (1)	○			・ 持ち物を尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。 【知】（行動観察、振り返りシート）
二	○ 防災グッズを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 (1)	○			・ 防災のために準備するものを表す話を聞いたり言ったりしている。 【知】（行動観察、振り返りシート）
三	○ 防災のために家庭で準備する物を選択し、オリジナルの防災バッグを作る。 (1)			○	・ 相手に伝わるように工夫しながら尋ねたり答えたりしようとする。 【主】（行動観察、ワークシート、振り返りシート）
四	○ 防災のために家庭で準備する物や、持ち物を尋ねたり答えたりして伝え合っている。 (本時)		○		・ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、欲しいものや必要なものなどを伝え合っている。【思】（行動観察、振り返りシート）

5 本時の展開

本時の目標 選んだ防災グッズを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。		
学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
1 挨拶をする。 ○天気、日付、曜日を答える。 ○フラッシュカードとデジタル教材を視聴して“Do you have～?”のチャンツの練習をする。 2 Small talk と Who am I? クイズを聞く。 ○指導者と ALT のやり取りやクイズの内容から本時の内容を確認する。 3 本時のめあてを確認する。	・明るい声で、気持ちのよい挨拶を交わす。 ・動作を入れてどんな気持ちか表現する。 ・曲のリズムに乗って大きな声と一緒に言う。 ・教師の発音を聞いた後に、発音させ、正しい発音ができるようにする。 ・指導者と ALT が活動のモデルとなるやり取りを示し本時の見通しをもたせる。 ・実際に防災バッグを用意し、Small talk の内容のイメージをもたせる	
めあて 自分が選んだ防災グッズを友達に伝えよう。		
4 防災バックの中身選びを行う。 ○色々な防災グッズとそれを尋ねる表現や答え方を確認する。 ○隣の列の児童やグループの中で、選んだ防災グッズを尋ねる活動を行う。 ○教室を歩いて他のグループの友達と防災セットの中身を伝え合う。	・“Do you have～?” や “I have～” など活動の中で用いる文字カードを黒板に貼り、尋ね方や答え方の順番を意識づけさせる。 ・発音が難しい単語は日本語で伝えていいことを話しておき、児童が安心して活動に取り組むことができるようにする。 ・ペア活動を行う際には、動作や反応を入れることを確認させる。 ・ワークシートに友達が選んだ防災グッズを記入し、共通点や相違点に気付かせる。 〈児童の状況に応じた指導〉 ・机間巡視を行い、防災グッズの言い方や尋ね方、答え方が分からなくなった児童には、指導者や ALT が一緒に発音し、支援する。	・自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、欲しいものや必要なものなどを伝え合っている。【思】（観察、振り返りカード） - A: 相手に合わせて反応しながら、尋ねたり答えたりして伝えあっている。 - B: 尋ねたり答えたりして伝え合っている。 - C: 尋ねたり答えたりして伝え合うことができない。
4 ALT が選んだ防災グッズを聞く。 ○国や家族構成によって選ぶ防災グッズが違うことを知る。	〈予想される児童の発言〉 【Yes の場合】 A “Do you have foods?” B “Yes, I do. I have foods” A “I see.” 【No の場合】 A “Do you have foods?” B “No, I don’t. I have water.” A “OK.”	

5 本時の活動を振り返る。 ○単元の振り返りカードを記入し、自己評価を行う。 6 挨拶をする。	まとめ “I have～”をつかって選んだ防災グッズをジェスチャーをつけて友達に伝えることができた。 友だちと話しをする前には“Hello.”と伝えたり、話しを
---	--

6 板書計画

Today's Goal 自分が選んだ防災グッズを友達に伝えよう。	天気，日付，曜日
Who am I ? クイズ	防災グッズ
Do you have () ? Yes, I do. / No, I don't. I have ().	• I see. • Really ? • Very good. • Me too.